ひび割れ補修工　九州フィールド対象NETIS技術等選定一覧

工法比較表対象技術　新規対象技術（調査中）　削除技

令和7年3月現在

※「活用状況（本省）」欄にNETIS掲載期間内の大まかな活用件数を記す。☆＝500件以上、◎=100件以上、〇=50件以上、□=20件以上

（注）NETISホームページへ移動しない場合は、ファイルをダウンロードしてご使用ください。

整理番号	技術名	NETIS番号	AVG	アブストラクト	区分	分類1 Lv.1	分類1 Lv.2	分類1 Lv.3	分類1 Lv.4	技術の位置づけ	活用効果評価	活用状況（本省）※	掲載期間終了技術（終了時期）	生産供給体制（機械保有台数等）	備　考	NETIS HPリンク先（注）
1	CS-21ひび割れ補修セット	CG-110003	VG	ひび割れの補修を、無機系の①CS-21クリアー、②CSパテのセットにおいて、ひび割れに塗布+擦込む簡便な工法によりひび割れ自閉効果と空隙の充填を可能とした。ひび割れからの劣化因子の侵入を防ぎコンクリートの耐久性向上と美観等に寄与する技術。	材料	コンクリート工	コンクリート工	その他		[活用促進](2016.6.16～)	有		〇（R4年3月）	-		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=CG-110003
2	リハビリシリンダー工法	CG-110017	VG	本技術は、無機系注入材と亜硝酸リチウムを併用したコンクリートひび割れ注入工法であり、ひび割れを閉塞するひび割れ注入本来の目的に加え、亜硝酸リチウムによる鉄筋防錆効果(塩害、中性化対策)およびASR膨張抑制効果(ASR対策)を付与する技術です。	工法	道路維持修繕工	橋梁補修補強工	ひび割れ注入工	無収縮モルタル		有	□	〇（R4年3月）	-		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=CG-110017
3	ショーボンドCAP工法	KT-120057	VG	本技術は、注入材を表面に塗布することでひび割れ内部に浸透させ接着できるひび割れ補修工法で、従来は注入器具によるひび割れ注入工にて対応していた。本技術の活用により、シール材の設置撤去工程が不要となり工程の短縮が図られる。	工法	道路維持修繕工	橋梁補修補強工	ひび割れ注入工	エポキシ系樹脂	[活用促進]（R04/01/25～）	有	□	〇（R5年3月）	-		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KT-120057
4	ひび割れ補修浸透性エポキシ樹脂塗布工法	CB-130007	VG	ひび割れの奥まで補修する際に低圧注入器具を用いて補修材を注入していたのに対し、塗布だけでひび割れに補修材が浸透する工法です。浸透性エポキシ樹脂接着剤「アルファテック388」を繰り返し塗布することで毛細管現象によってひび割れ内部にまで浸透します。	工法	コンクリート工	その他			[活用促進](2019.10.25～)	有		〇（R6年4月）	-		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=CB-130007
5	ハイドロフィット工法（含浸複合注入工法）	KT-160095	VR	本技術は漏水工事を無機系による含浸注入工法により、漏水補修及中性化抑止する技術で従来は有機系による密着工法で対応していた。本技術の活用により引火性有毒ガスの発生もなく安全性の向上、工程短縮、品質、耐久性、景観保護、経済性、施工性の向上が図れる。	材料	共通工	薬液注入工	薬液系	特殊シリカ系		有			-		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KT-160095
6	ハイブリッドエポキシ樹脂	HK-170005	VR	塩害劣化環境下のコンクリート構造物に対する、機能性吸着材を添加した塩分吸着型エポキシ樹脂コンクリート補修材。鉄筋やコンクリート中の塩化物イオンを吸着固定化することにより塩害による鉄筋腐食の抑制と、コンクリートの補修を同時に行うことができる技術。	材料	道路維持修繕工	橋梁補修補強工	その他			有			-		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=HK-170005
7	ビックス工法	QS-990009	VG	コンクリート構造物のひび割れに、エポキシ樹脂注入材で膨らんだゴム製注入器が縮む力により、時間をかけてひび割れの奥深くまで確実に樹脂を注入するひび割れ注入工法。ポンプにより直接注入する従来の工法に較べて微細なひび割れへの注入が可能です。	材料	道路維持修繕工	橋梁補修補強工	ひび割れ注入工	エポキシ系樹脂	[H25活用促進(旧)]	有	◎	〇（H29年4月）	-		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=QS-990009
8	アルファー・ゾル-G注入工法	SK-050009	VG	この工法は、水の接するコンクリートの打設部・ひび割れ・コールドジョイント・セパレーター等、施工後に発生した漏水補修に適用する。	工法	道路維持修繕工	トンネル補修補強工	漏水対策工		[H26活用促進(旧)]	有	□	〇（H29年4月）	-		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=SK-050009
9	ハイスタッフ	QS-980215	VG	超微粒子高炉スラグを主材とした無機系ひび割れ注入材ハイスタッフは、ひび割れに注入するとコンクリートから溶出したカルシウムイオンCa2+と高炉スラグが迅速に反応し、強固なカルシウムシリケート水和物を生成することで、長期にわたり緻密な硬化体を形成します。	材料	道路維持修繕工	橋梁補修補強工	ひび割れ注入工	無収縮モルタル		有	□	〇（H29年4月）	-		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=QS-980215
10	ビトパッカー工法	KK-020003	VG	本技術は、漏水を伴う各コンクリートのひび割れ対策工法である。従来は、親水性ポリウレタン樹脂を使用していたが、ビトパッカー工法は、2種類の注入剤を使用することで、微細ひび割れ(ヘアークラック)にも充填されるため、従来工法より止水効果が向上する。	工法	道路維持修繕工	トンネル補修補強工	漏水対策工			有	□	〇（H29年4月）	-		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KK-020003
11	IPHシステム内圧充填接合補強工法	CG-070007	VG	本技術は劣化鉄筋コンクリート構造物に穿孔して反力エアーを外部に排出できる機能付き注入器を使用し、樹脂を微細なひび割れまで高密度・高深度に充填し、コンクリートの一体化、部材の強度回復、鉄筋の付着力回復・防錆、止水、中性化抑制等を高める注入工法である。	工法	道路維持修繕工	橋梁補修補強工	断面修復工		[設計比較](2012.10.18～)	有		〇（H30年4月）	水循環型穿孔用電気ドリル（IPHミストダイヤ）九州内36台／九州外271台 吸塵付ディスクグラインダ（VDRダイヤモンド吸塵システム）九州内26台／九州外254台		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=CG-070007
12	ミクストグラウト	CG-180004	A	コンクリートに発生した、ひび割れや打継ぎ等からの漏水を止水する工法。従来は1液型ポリウレタン樹脂系止水材が用いてられてきたが漏水量によって止水効果にバラツキが発生していた。本技術は2液混合により自硬性を有する止水材を用いる事で安定した止水効果が得られる。	工法	道路維持修繕工	トンネル補修補強工	漏水対策工						30台		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=CG-180004
13	バジリスクER7 液体ひび割れ補修剤	HK-180017	A	本技術は、バクテリアの代謝活動を利用した液状のコンクリートひび割れ補修剤であり、従来は、樹脂注入工法で対応していた。本技術の活用により、材料費・施工費の縮減や工期の短縮化を期待できる。	材料	コンクリート工	コンクリート工	その他						-		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=HK-180017
14	アルカリ反応型高圧注入剤(アウターシール剤)	KT-180135	A	本技術は、コンクリート構造物の漏水をアルカリ反応により成長した結晶構造体で止水する注入工法であり、従来はエポキシ樹脂の注入で対応していた。本技術の活用により、止水能力の向上、粘性度調整によりひび割れ幅の対応範囲が広がり施工性向上が期待できる。	材料	道路維持修繕工	橋梁補修補強工	その他						施工代理店		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KT-180135
15	e-ジェクター工法「自動式樹脂注入工法」	KK-190024	A	本技術はコンクリートひび割れ注入において低圧注入を自動で行える注入器の製品技術であり、従来はクラック処理工(ポンプによりひび割れ注入を行う工法)であった。本技術の活用により、施工性の向上、所要日数の短縮が期待できる。	工法	道路維持修繕工	橋梁補修補強工	ひび割れ注入工	エポキシ系樹脂					-		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KK-190024
16	UG-Ⅰグラウト工法	KK-200030	A	本技術は、コンクリート構造物からの漏水対策において、従来技術の止水注入材より硬化物の収縮率を低減させた技術であり、従来は1液型ポリウレタン樹脂のみの注入材であった。本技術の活用により経済性、品質、施工性の向上が期待できる。	工法	コンクリート工	コンクリート工	その他						-		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KK-200030
17	ひび割れへのシールテープ「せこたん」を用いた手動式低圧注入工法	TH-200001	A	本技術は注入材の充填状況を可視化するテープと手動式低圧注入工法を用いる技術で、従来は不透明なシール材を用いた自動式低圧注入工法で対応していた。本技術の活用により、充填状況を確認しつつ最適な圧力で注入できるため、品質及び作業効率の向上が期待できる。	工法	コンクリート工	コンクリート工	その他						-		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=TH-200001
18	浸透性アクリル系樹脂注入材「クラックブロック」	QS-230015	A	本技術はコンクリートエのひび割れ補修に関する技術である。従来は低圧注入工法で 対応していたが、本技術の活用により、注入に係る作業が削減され、ローラや刷毛に よる塗布浸透作業のみとなることで施工性の向上や工程短縮を可能にした。	工法	道路維持修繕工	橋梁補修補強工	ひび割れ注入工	エポキシ系樹脂					技術提供が可能な地域：全国		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=QS-230015
19	コンクリートひび割れ補修工法 「ミクロカプセルGP工法」	KT-230319	A	本技術は、コンクリート構造物のひび割れ補修におけるカプセル型のジオポリマー注入工法である。従来は、エポキシ樹脂系注入材で行っていた。本技術の活用により、計量不要かつ短時間の攪拌で練り混ぜが可能となるため、施工性の向上が図れる。	工法	建築	改修工事							／		https://www.netis.mlit.go.jp/netis/pubsearch/details?regNo=KT-230319